#### 特別会計・公営企業会計の決算状況

#### 国民健康保険特別会計

自営業や農業を営む人など国民健康保険加入者の医療にか かる費用をまかなう会計です。

○歳入 68億4,046万円(前年度比 1,405万円)○歳出 67億1,896万円(前年度比 1,046万円)

#### 後期高齢者医療特別会計

主に 75 歳以上の高齢者が加入する医療制度で、市が行う 事務のうち保険料の徴収または事業主体である広域連合へ の保険料の納付を行う会計です。

○歳入 11億6,810万円(前年度比 1 億3,782万円)○歳出 11億3,433万円(前年度比 1 億3,373万円)

#### 介護保険事業特別会計

主に65歳以上の高齢者が要介護状態または要支援状態になったときに必要な保険給付を行う会計です。

○歳入 92億7,476万円(前年度比 1億8,772万円)○歳出 88億5,606万円(前年度比 1億221万円)

#### 土地取得特別会計

公共用地取得事業の買収に伴う、代替地などの取得や売却 を行う会計です。

○歳入 6万円(前年度比**1**6万円) ○歳出 6万円(前年度比**1**6万円)

#### 公営企業会計(下水道事業)

下水道施設の整備や下水処理を行うための会計です。

#### 【収益的収入と支出】

#### 【資本的収入と支出】

企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業債償還 金などの支出とその財源となる収入です。

資本的収入 22億5,934万円(前年度比 ↓ 2億2,693万円)○資本的支出 30億3,022万円(前年度比 ↓ 2億2,954万円)

#### ●燕市の財政健全度は…

令和6年度数値は、いずれも国の基準の範囲内であり、 財政状況は「健全段階」にあります。

#### ●健全化判断比率

(単位:%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
_	_	12.7	68.7
(12.38)	(17.38)	(25.0)	(350.0)

※実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は、「一」 となります。

※( )内は国が示す当市の早期健全化基準です。

#### ●資金不足比率

公営企業会計の名称	資金不足比率(%)
下水道事業会計	- (20.0)
※資金不足がない場合は	「一」となります。

#### 市民1人あたりに換算すると

歳 入

令和6年度に市民の皆さんが納めた市税を 人口で割った数値です。

<b>①市民税</b>	<b>❷固定資産税</b>
62,749 円	70,503 円
(前年度比 <b>↓</b> 1,912 円)	(前年度比 <b>↑</b> 744 円)
<b>③</b> 市たばこ税	<b>②</b> 軽自動車税
<b>❸市たばこ税</b>	<b>❹軽自動車税</b>
7,468 円	4,380 円

歳出

令和6年度に使ったお金を人口で割った数値です。

#### 性質別

<b>①物件費</b>	<b>②負担金や補助金</b>
101,438 円	91,694 円
(前年度比 <b>↑</b> 3,745 円)	(前年度比 <b>↓</b> 424 円)
<b>②扶助費</b>	<b>②人件費</b>
82,956 円	82,739 円
(前年度比 <b>↓</b> 423 円)	(前年度比 <b>↑</b> 9,446 円)
<b>⑤投資的経費</b>	<b>③公債費(借換分</b> <sup>(*)</sup> 除く)
73,308 円	57,950 円
(前年度比 <b>↑</b> 19,049 円)	(前年度比 <b>↓</b> 516 円)

#### 目的別

**⋒**民生費

サル工具	
186,043 円	127,166 円
(前年度比 ↑ 28,102円)	(前年度比 ↑ 2,572 円)
<b>❸</b> 教育費	<b>②</b> 土木費
63,468 円	61,864 円
(前年度比 ↑ 2,831円)	(前年度比 ↑ 3,021 円)
<b>6</b> 公債費(借換分 <sup>(※)</sup> 除く)	<b>6</b> 衛生費
57,818 円	48,737 円
(前年度比 ↓ 518円)	(前年度比

の終発費

#### ●基金残高(預金年度末残高)

基金名など	現在高	市民 1人あたり	前年	年度比
財政調整基金	38 億 6,671 万円	50,921 円	t	19.1%
減債基金	12 億 6,540 万円	16,664円	t	4.7%
その他特定目的基金	42 億 9,973 万円	56,623 円	t	0.2%
土地開発基金	1億5,291万円	2,014円		0.0%
その他定額運用基金	200 万円	26 円		0.0%
その他基金(特別会計)	18 億 4,152 万円	24,251 円	t	3.1%
合計	114億2,827万円	150,500円	t	6.9%

#### ●市債残高(借入金年度末残高)

会計名	現在高	市民1人あたり	前年	F度比
一般会計	395 億 6,403 万円	521,025 円	ţ	3.9%

# 令和6年度

# 決算報告

市民の皆さんから納めていただいた税金の使い道 や、市の財政がどのような状況にあるかを知って いただくため、毎年「財政事情」を公表しています。

●問合せ 企画財政課 財政チーム ☎ 77・8356

令和6年度決算は、3つの人口戦略を柱に、急速な人口減少や DX・脱炭素といった本市を取り巻く社会潮流への対応に重点的に取り組む一方で、物価高騰による物件費の増や会計年度任用職員への勤勉手当の支給等による人件費の増、さらに、屋内こども遊戯施設や児童クラブメート、小中川児童クラブ等の子育て関連施設の建設事業を実施したことによる投資的経費の増などにより、一般会計歳出で前年度比 5.1% 増の 519 億 1,722 万円となりました。

## 一般会計 歳入 決算額

### 543 億 3.993 万円(前年度比 ↑ 3.9%)

1市税

(20.3%)

②国・県支出金

(16.0%)

3市債

(15.6%)

②地方交付税

(15.5%)

6 寄附金

(10.3%)

6繰入金

(8.1%)

7繰越金

(5.3%)

段諸収入(1.6%)

(7.3%)

①市税 110億1,822万円(↓1.7%)市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税

②国・県支出金 87億1,926万円(↑6.3%) 特定の事業に対して、国や県から交付される もの

③市債 84億6,335万円(**↑**12.7%) 借入金(借換分 57 億 9,705 万円<sup>(※)</sup>を含む)

④地方交付税 83億9,955万円(↓1.8%) 全ての地方公共団体が一定の水準の行政サー ビスを維持できるよう、団体間の財源の不均 衡を是正するために国から交付されるもの

⑤寄附金 56億86万円(↑2.6%) ふるさと燕応援寄附金をはじめとする各種寄 附金

**⑥繰入金 44億1,868万円(↓7.0%)**財源不足補てんや特定の事業に充てるため 預金(基金)を取り崩したもの

**⑦繰越金 28億9,696万円(1**5.3%) 前年度決算の剰余金を繰り越したものなど

③諸収入 8億7,392万円(↑18.4%) 商工業者を支援するため金融機関に預託し たお金が年度末に戻されたものなど

**⑨その他 39億4,913万円(↑16.4%)**地方消費税交付金や施設利用料など

## 一般会計 **歳出** 決算額 519億1,722万円(前年度比 ↑ 5.1%)

**●**公債費 (19.6%)

**❷**物件費 (14.9%)

**③**負担金や 補助金 (13.4%)

> **4**扶助費 (12.1%)

**⑤**人件費 (12.1%)

6投資的経費 (10.7%) 7繰出金

**9**その他 (10.9%) **①公債費 101億9,746万円(↑**2.2%) 市の借入金の返済の経費(借換分 57 億 9,705 万円 <sup>(\*)</sup> を含む)

②物件費 77億270万円(↑2.8%) 委託料、消耗品費や旅費など消費的な経費

③負担金や補助金 69億6,275万円 (↓1.5%)

一部事務組合の負担金や各種団体などへ の補助金などの経費

**④扶助費 62億9,929万円(**↓1.5%) 児童・高齢者・障がい者など福祉の経費 や医療給付など社会保障のための経費

**⑤**人件費 62億8,276万円(↑11.7%) 市議会議員・各種委員報酬や市職員の給 料などの経費

⑥投資的経費 55億6,665万円(↑33.7%) 道路・下水路などの社会資本や農業基盤 の整備、公共施設の改修などの経費

**7**繰出金 28億4,254万円( ↑ 2.8%) 下水道事業会計や国民健康保険などの特別会計の運営に対する経費

3投資および出資金・貸付金 4億252万円 (↑8.0%)

商工業者を支援するための金融機関への預 託金や教育費の奨学金貸付金などの経費

**9**その他 56億6,055万円(↑1.8%)

3投資および出資金・貸付金(0.8%)

## (※) 借換分とは

過去に借り入れた市債を現行の利率のものに借り換えたもので、借入額と返済額が歳入歳出同額(57億9,705万円)で含まれています。

さらに詳しい情報は 市ホームページをご 確認ください ▶

	歳出(目的別)の状況 ※()内は前	年度比
①民生費	児童・高齢者・障がい者など福祉の経費	141億2,714万円( 16.6%)
②公債費	市の借入金の返済の経費(借換分(**)を含む)	101億8,746万円(↑ 2.2%)
③総務費	行政運営、市税の賦課・徴収などの経費	96億5,637万円(↑ 1.0%)
④ 教育費	小中学校の運営や社会教育などの経費	48億1,948万円(★ 3.6%)
⑤土木費	道路や橋、公園の整備などの経費	46億9,764万円(↑ 4.1%)
⑥衛生費	ごみ収集や市民の健康増進などの経費	37億 81万円(↓ 1.9%)
⑦消防費	消防や防災対策などの経費	18億 79万円(↑ 7.0%)
⑧商工費	商工業や観光の振興などの経費	14億6,680万円(1 9.0%)
⑨農林水産業費	農業や林業、水産業の振興などの経費	9億3,922万円( ▮ 12.3%)
⑩ その他	議会・労働・災害復旧などの経費	5億2,151万円( ₹29.6%)
	②公債費 ③総務費 ④教育費 ⑤土木費 ⑥衛生費 ⑦消防費 ⑧商工費	①民生費 児童・高齢者・障がい者など福祉の経費 ②公債費 市の借入金の返済の経費(借換分 <sup>(※)</sup> を含む) ③総務費 行政運営、市税の賦課・徴収などの経費 ④教育費 小中学校の運営や社会教育などの経費 ⑤土木費 道路や橋、公園の整備などの経費 ⑥衛生費 ごみ収集や市民の健康増進などの経費 ⑦消防費 消防や防災対策などの経費 ⑧商工費 商工業や観光の振興などの経費 ⑨農林水産業費 農業や林業、水産業の振興などの経費

2025.11.01